

[2019.08.23]

証券コード：4392 東証一部／福証本則

# 2019年12月期 第2四半期 決算説明資料

当社の設立は2018年7月ですので、2018年6月までの実績はモバイルクリエイト株式会社の連結実績で集計しております



# 2019年12月期 第2四半期決算概要



# 2Q決算のポイント

---

## 情報通信事業セグメント

---

### タクシー関連事業が好調

政府の掲げるキャッシュレス化社会の推進が活性化、タクシー向け決済システムはレンタル契約を中心として展開（短期的な売上計上には寄与せず）

## 装置等関連事業セグメント

---

### 2Qは利益率悪化により低迷

1Qまでは前期受注分で好調維持していたものの、足元の半導体製造装置市場の調整局面や米中貿易摩擦の影響もあり、好調であった車載製造装置市場に競合各社が集中し、価格競争が激化し利益率が悪化

# 業績ハイライト

単位：百万円／下段は売上比

	2018年12月期			2019年12月期			前年比（2Q累計）	
	1Q	2Q	2Q累計	1Q	2Q	2Q累計	増減額	増減率
売上高	1,982 (100%)	2,145 (100%)	4,127 (100%)	2,704 (100%)	2,006 (100%)	4,711 (100%)	+583	+14.1%
売上総利益	599 (30.3%)	581 (27.1%)	1,180 (28.6%)	734 (27.2%)	448 (22.3%)	1,182 (25.1%)	+1	+0.1%
販売費及び一般管理費	494 (24.9%)	497 (23.2%)	991 (24.0%)	510 (18.9%)	516 (25.8%)	1,027 (21.8%)	+35	+3.6%
営業利益	105 (5.3%)	83 (3.9%)	189 (4.6%)	224 (8.3%)	△68 (△3.4%)	155 (3.3%)	△33	△17.9%
経常利益	137 (6.9%)	97 (4.5%)	234 (5.7%)	232 (8.6%)	△44 (△2.2%)	188 (4.0%)	△46	△19.7%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	61 (3.1%)	△4 (△0.2%)	56 (1.4%)	167 (6.2%)	△62 (△3.1%)	104 (2.2%)	+47	+84.7%

# セグメント別業績

単位：百万円

	2018年12月期			2019年12月期			前年比 (2Q累計)	
	1Q	2Q	2Q累計	1Q	2Q	2Q累計	増減額	増減率
売上高	1,982	2,145	4,127	2,704	2,006	4,711	+583	+14.1%
情報通信事業	1,059	900	1,959	1,244	986	2,230	+270	+13.8%
装置等関連事業	922	1,245	2,168	1,460	1,020	2,481	+313	+14.4%

レンタル契約で売上はストック化

単位：百万円

	2018年12月期			2019年12月期			前年比 (2Q累計)	
	1Q	2Q	2Q累計	1Q	2Q	2Q累計	増減額	増減率
営業利益	105	83	189	224	△68	155	△33	△17.9%
情報通信事業	39	△52	△13	157	46	204	+218	—
装置等関連事業	67	137	204	148	△4	143	△61	△29.8%
調整額	0	△1	△1	△81	△110	△192	△190	—

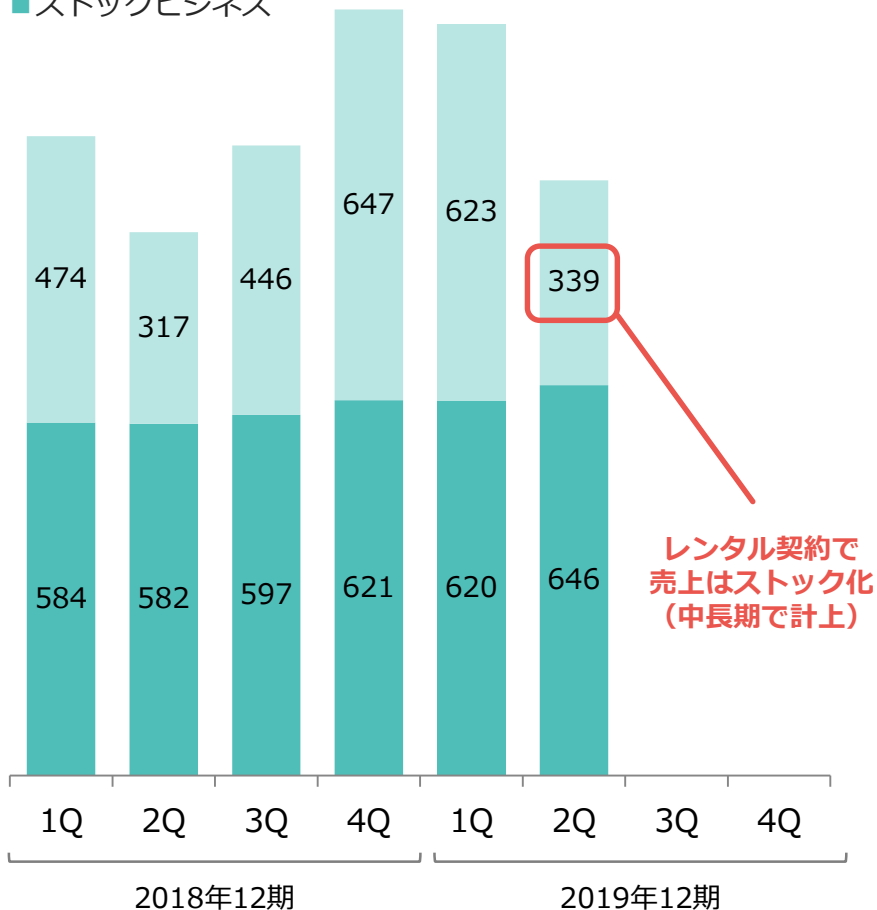
市場調整局面や米中貿易摩擦で利益率悪化

# 売上高の四半期別推移

## 情報通信事業

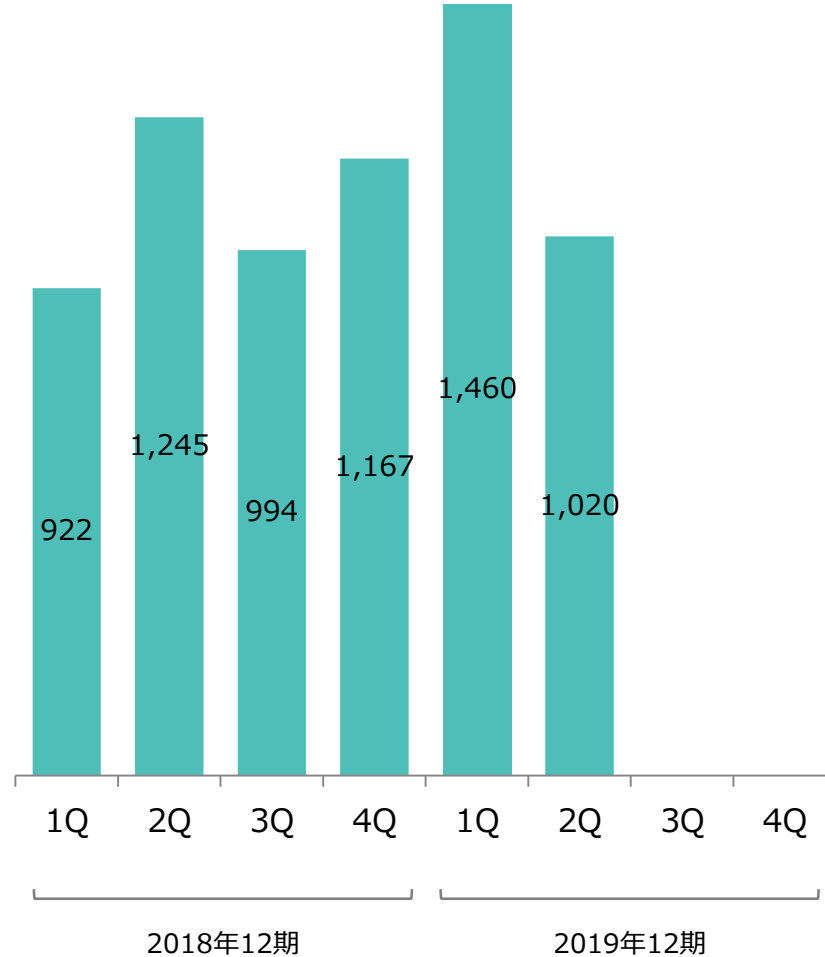
(単位:百万円)

- フロービジネス
- ストックビジネス



## 装置等関連事業

(単位:百万円)



# 損益計算書（四半期累計）

単位：百万円／下段は売上比

	2018年12月期				2019年12月期			
	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計
売上高	1,982 (100.0%)	4,127 (100.0%)	6,165 (100.0%)	8,602 (100.0%)	2,704 (100.0%)	4,711 (100.0%)	—	—
売上総利益	599 (30.3%)	1,180 (28.6%)	1,830 (29.7%)	2,575 (29.9%)	734 (27.2%)	1,182 (25.1%)	—	—
営業利益	105 (5.3%)	189 (4.6%)	280 (4.6%)	507 (5.9%)	224 (8.3%)	155 (3.3%)	—	—
経常利益	137 (6.9%)	234 (5.7%)	322 (5.2%)	554 (6.4%)	232 (8.6%)	188 (4.0%)	—	—
親会社株主に帰属 する当期（四半 期）純利益	61 (3.1%)	56 (1.4%)	129 (2.1%)	273 (3.2%)	167 (6.2%)	104 (2.2%)	—	—

# 貸借対照表

単位：百万円／下段は構成比

	2018年12月期末	2019年12月期 2Q		主な増減
			増減額	
流動資産	7,283 (61.2%)	6,665 (60.4%)	△617	受取手形及び売掛金 △91 たな卸資産 △570
固定資産	4,618 (38.8%)	4,377 (39.6%)	△241	投資有価証券 △134
資産合計	11,902 (100.0%)	11,042 (100%)	△859	
流動負債	2,685 (22.6%)	1,958 (17.7%)	△727	支払手形及び買掛金 △195 短期借入金 △400
固定負債	1,454 (12.2%)	1,321 (12.0%)	△132	長期借入金 △144
負債合計	4,140 (34.8%)	3,280 (29.7%)	△860	
純資産	7,761 (65.2%)	7,762 (70.3%)	+1	
負債・純資産合計	11,902 (100.0%)	11,042 (100%)	△859	

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。



# 2019年12月期計画に対する進捗率

単位：百万円／下段は売上比

	2019年12月期 2Q実績	2019年12月期計画			
		2Q累計		通期	
			2Q達成率		2Q進捗率
売上高	4,711 (100.0%)	4,500 (100.0%)	104.7%	9,500 (100.0%)	49.6%
売上総利益	1,182 (25.1%)	1,320 (29.3%)	89.6%	2,743 (28.9%)	43.1%
営業利益	155 (3.3%)	200 (4.4%)	77.8%	570 (6.0%)	27.3%
経常利益	188 (4.0%)	203 (4.5%)	92.7%	573 (6.0%)	32.8%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	104 (2.2%)	120 (2.7%)	86.9%	320 (3.4%)	32.6%

# 今後の取り組み



# 事業の重点テーマ

## セグメントは情報通信事業を強化していく

### フロー型からよりストック型へのビジネスモデルの変化を加速

- モノよりもコトをメインにした事業展開へ
- レンタルビジネス強化による事業機会の創出

### 主力のIP無線新型車載機を4Qから本格導入へ

- 新型車載機をIoTGWとして進化、様々なデバイスやサービスと連携
- コア技術の音声・動態に画像・動画のサービスを追加予定（AIによる画像解析等）

### キャッシュレス化社会に向けて、決済を事業の柱へと成長投資

- タクシー向け決済システムの販売強化（レンタル中心）
- OKICA商業展開へ向けてのシステム導入事業者に決定（2020年10月～商業展開予定）

# セグメント売上構造の変化

■ 情報通信事業  
■ 装置等関連事業

100%

● 2015年5月期（情報通信単一セグメント）

52億円

うちストック25%

50% 50%

● 2018年12月期（情報通信と装置が半々）

86億円

うちストック28%

47% 53%

● 2019年12月期（予算）

95億円

うちストック28%

40% 60%

● **今後2年で情報通信事業を拡大**

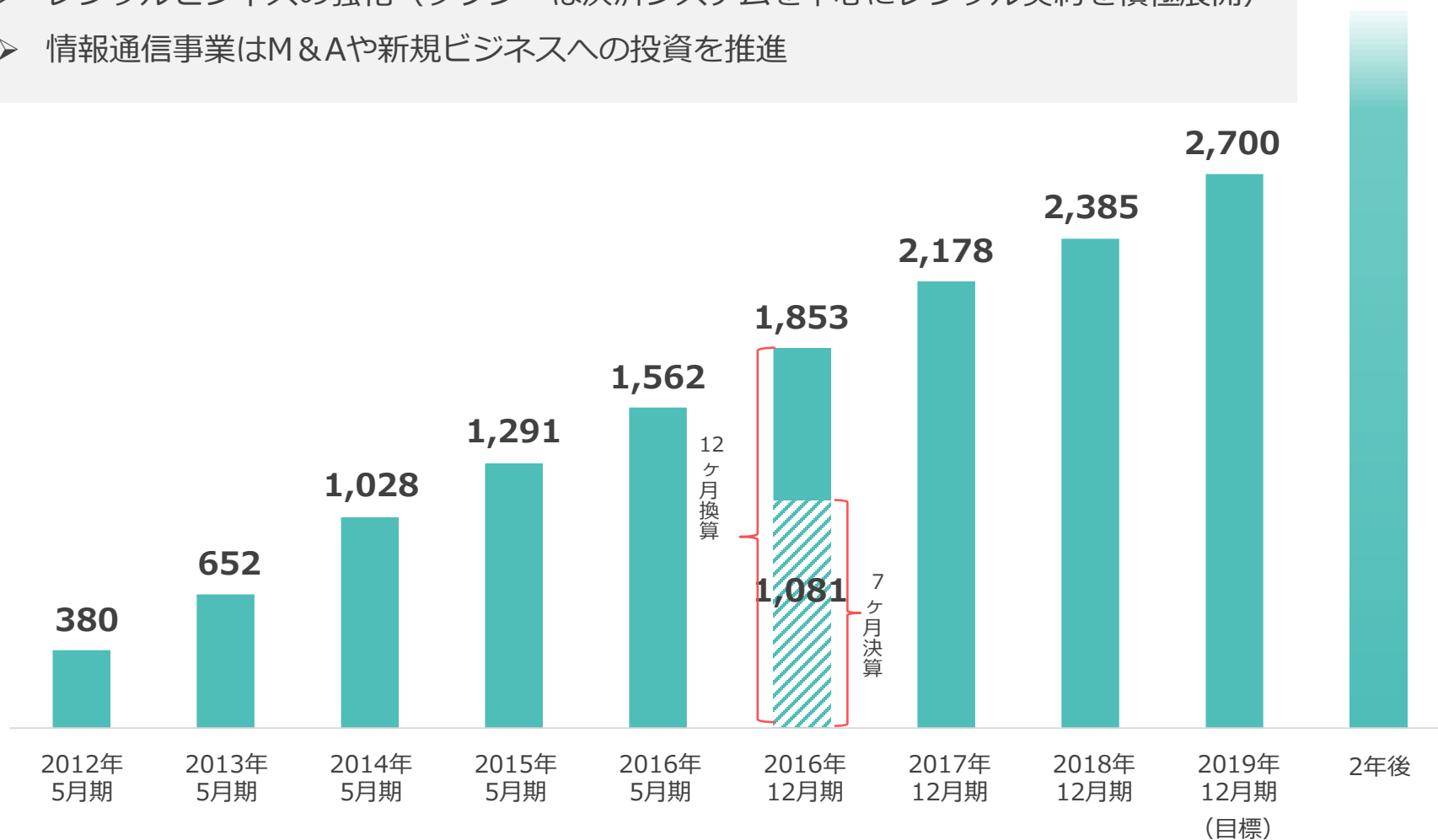
- 情報通信事業を強化（フロー型からストック型へとビジネスモデルの変化を加速）
- 今後2年以内に情報通信事業を60%、うちストックを35%へ拡大（M&Aや新規ビジネスも推進）

うちストック35%

# ストック売上の推移

- ストックの売上は順調に拡大、今後2年間で更なる拡大を目指す
- レンタルビジネスの強化（タクシーは決済システムを中心にレンタル契約を積極展開）
- 情報通信事業はM&Aや新規ビジネスへの投資を推進

単位：百万円



# 業務用IP無線システム

## コア技術



携帯通信網



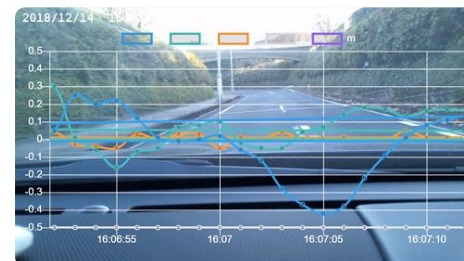
IM-870

## 新たなコア技術



## 新たなサービスイメージ (開発中)

➤ 運転診断



➤ AI画像解析



## デバイス連携

➤ ドライブレコーダー



➤ デジタコ



➤ タブレット

➤ アルコールチェッカー

# タクシー関連事業

## 1 決済システム

- 政府のキャッシュレス化推進により決済システム導入を加速
- 各種クレジット・各種電子マネー対応（QR決済開発中）
- レンタルによるストックビジネスを強化



配車システム導入台数

約2.5万台

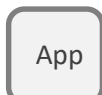
今後注力する4つの分野

## 3 配車アプリ（自社+他社）

- 自社開発アプリ・複数の他社配車アプリと連携
- 配車プラットフォームとして強化



自社アプリ



他社アプリ



配車プラットフォーム

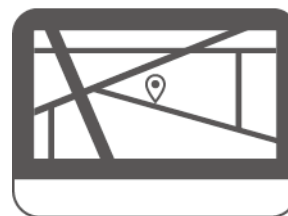
## 2 配車室受託

- 配車室受託を拡大中
- IPPBX・IVR導入推進
- AI配車（開発予定）



## 4 タブレット（開発中）

- ナビに加えてタブレットによるソリューションを追加
- 今後様々なサービスに対応



- ✓ ナビゲーション
- ✓ タクシー配車システムとの連動
- ✓ 電子決済との連動

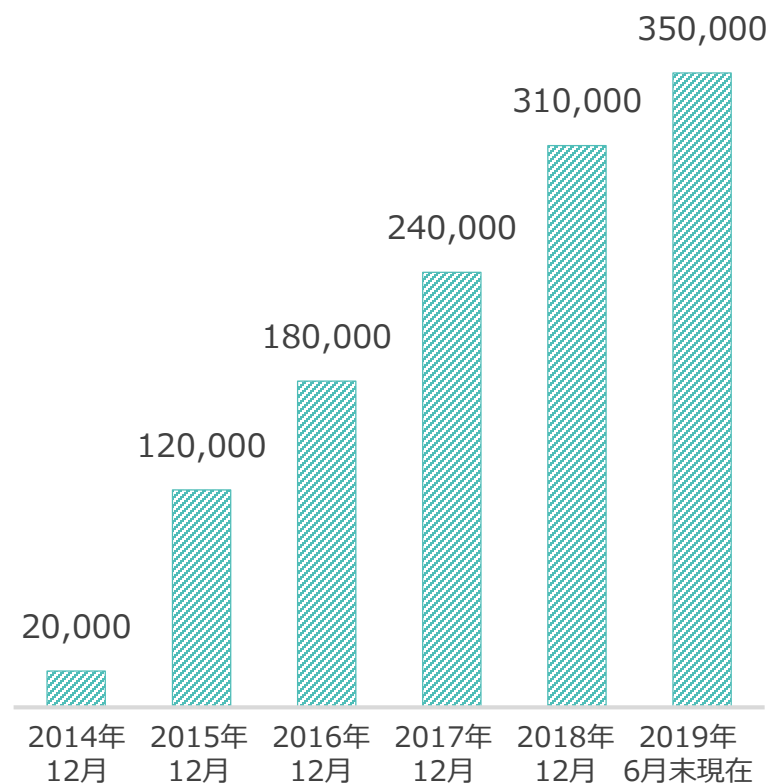
# OKICA商業分野進出における決済システム開発業者に選定

## キャッシュレス化を推進し、沖縄県の地域マネーを目指す

- OKICAの商業分野拡張に伴うシステム開発業者に選定
- 2020年10月サービス開始を目標に決済端末を選定し、タクシーやコンビニ、観光スポットなどの商業施設へ導入予定



## OKICA累計発行枚数





# ドローン・ロボット



## 多目的シングルローター

- 長時間飛行能力  
100cc4ストロークガソリンエンジンタイプは最大3時間、電動タイプは約50分の飛行が可能
- 高い積載能力  
スキッドに広いスペースを設けることで高い積載能力を実現し、様々な積載産業に使用可能
- 高い耐風能力  
最新のフライトコントローラーを使用、全自動飛行制御やレーダーを使用した高度維持機能を搭載。可変ピッチのため14m/sの風でも飛行が可能で、最大飛行速度は108km/h。



## ロボット

- 株式会社明治九州工場向けに自動搬送モバイルロボットを納入
- ロボットのシステム構築はモバイルクリエイイト、ロボット上部の筐体は石井工作研究所が製作
- モバイルロボットについても自社開発を進める予定



## ドローン実証実験

- 2018年12月 医療過疎地域における緊急血液検体搬送の研究開発に係る実証実験
- 2019年1月 ドローン宅配の実用化に向けた実証実験実施
- 2019年2月 造林用資材等運搬の実証試験
- 2019年5月 水稲湛水直播栽培の実証実験

耕起、代かきを終えた圃場において、ドローンによる散播を実施

※湛水直播栽培とは、水田に育てた苗を植える移植栽培に対し、水田に直接種子をまく栽培方法

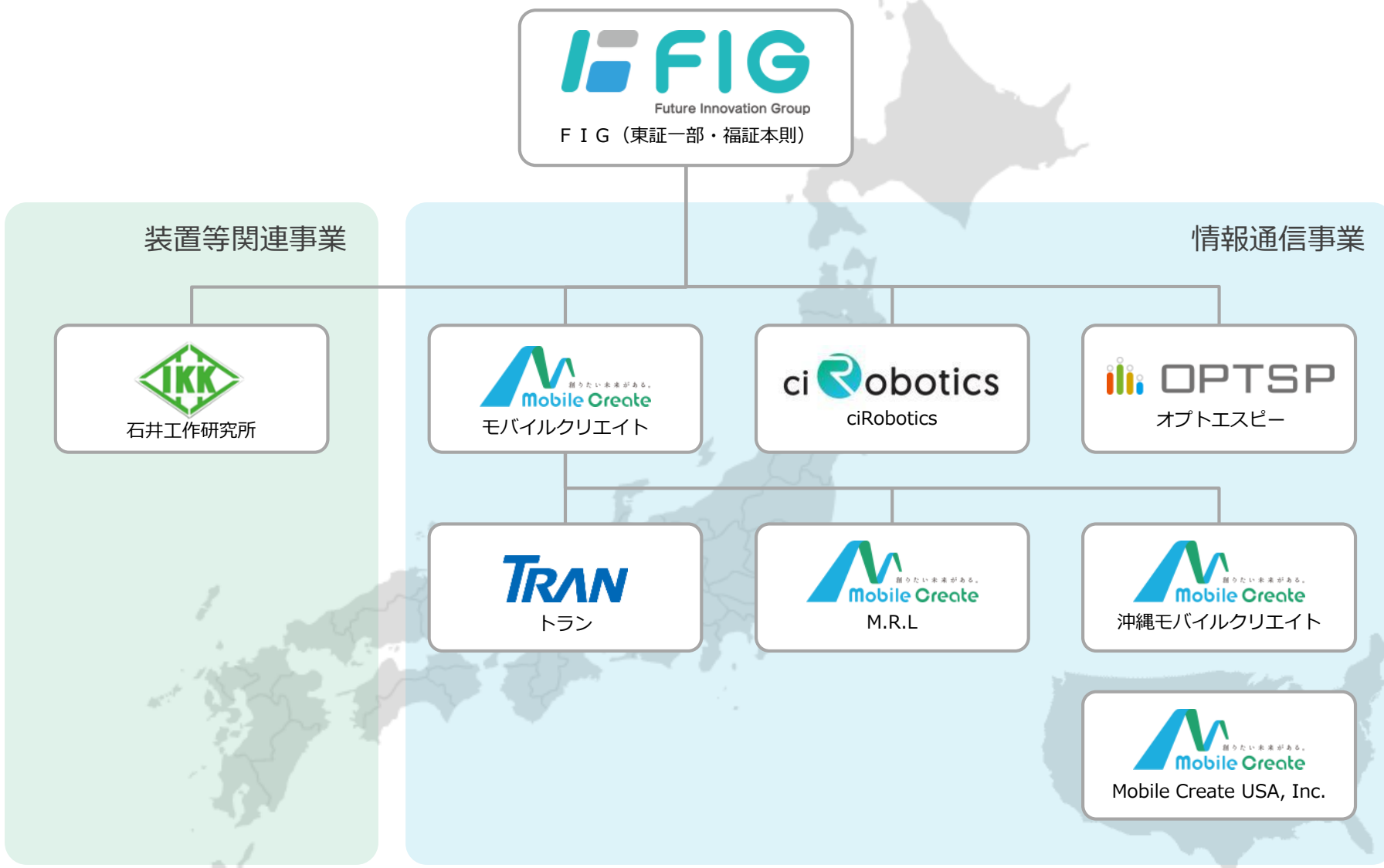
# 參考資料



# 会社概要

商号	<b>F I G株式会社</b> 英文社名：Future Innovation Group, Inc.	 Future Innovation Group
設立	2018年7月2日	
代表者	代表取締役社長 村井 雄司	
資本金	20億円	
所在地	大分県大分市東大道二丁目5番60号	
上場市場	東京証券取引所市場第一部・福岡証券取引所本則市場	
証券コード	4392	
発行済株式総数	31,084,515株（2018年12月末現在）	
従業員数	500名(2019年6月末現在連結)	
事業内容	子会社等の経営管理およびそれに付帯または関連する業務	

# グループ相関図

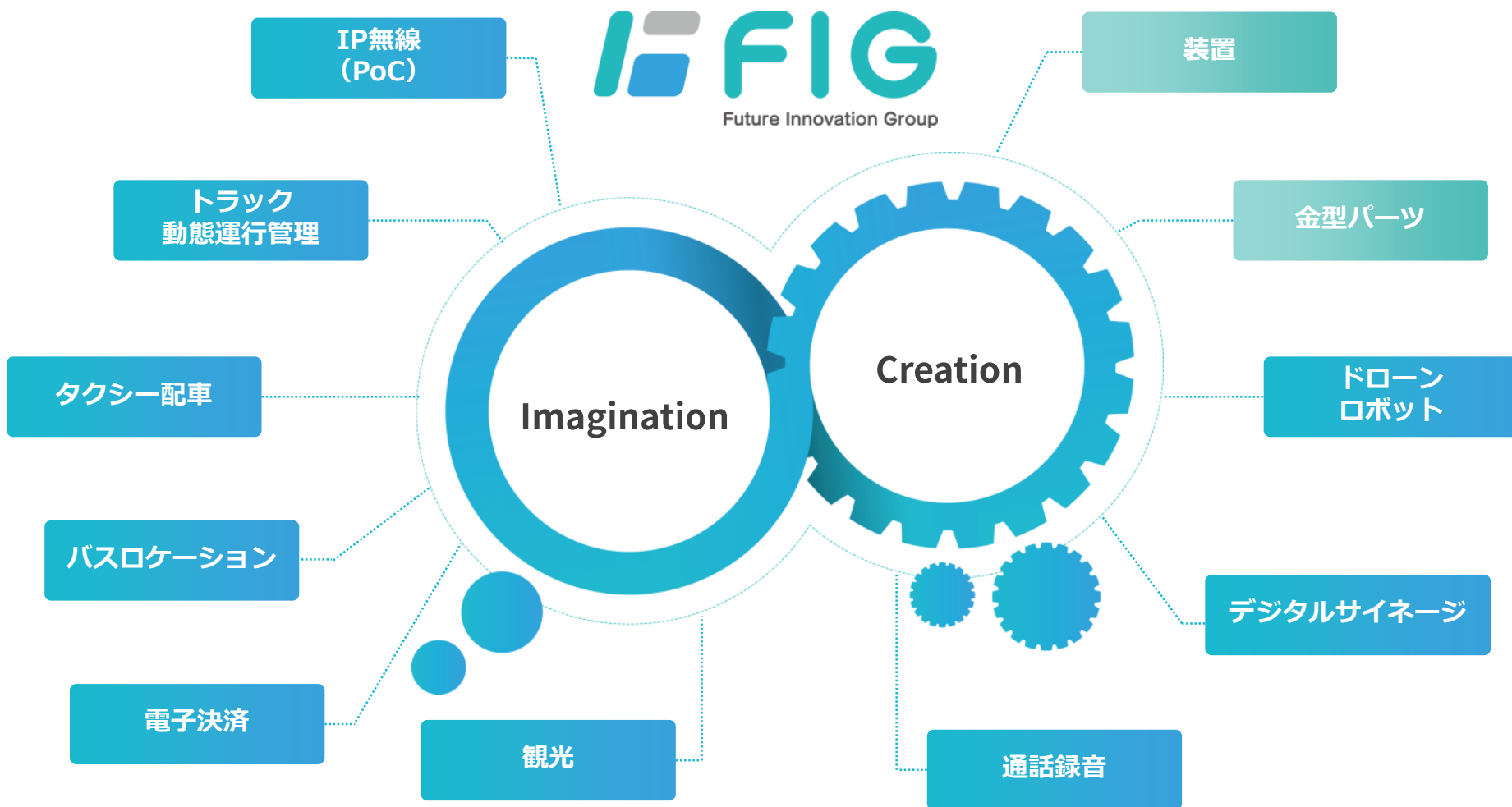


# 事業領域

情報通信事業

装置等関連事業

## 想像と技術と情熱で快適な未来を創造



# 中核会社（モバイルクリエイトの事業内容）

## 5つのコア技術



## サービス（主力）



ボイスポケット  
トランシーバー

NTTドコモの携帯通  
信網を利用したIP無  
線機（許認可・基地  
局・免許不要）



モバロケ

移動体をリアルタイ  
ムで管理する動態管  
理システム（物流メ  
イン）



Vクレジット  
Felica

オンライン決済を可  
能にした電子決済シ  
ステム（各種電子マ  
ネー・クレジット）



新視令

無線・料金メータ・  
ナビを連動、顧客情  
報を瞬時に表示、配  
車時間を短縮するタ  
クシー配車システム



モバステーション

バス運行ダイヤと連  
動・経路乗継検索・  
接近情報等、バスを  
見える化したバスロ  
ケーションシステム



デジタルサイネージ

ディスプレイなどの  
電子的な表示器を  
使って情報を発信。  
バス車内やターミナ  
ル構内等に設置。

## 市場

### メイン市場（交通・運輸系）

物流	タクシー	バス
----	------	----

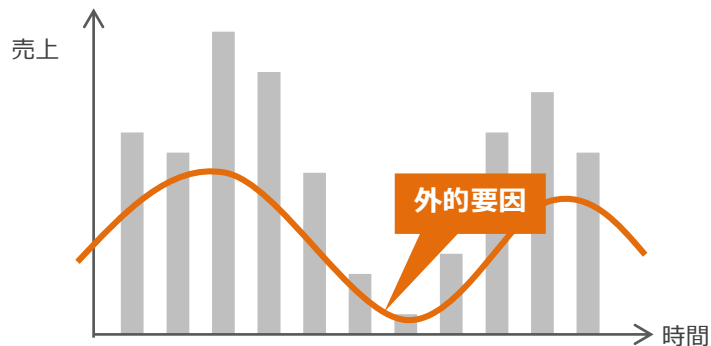
### 新市場開拓（非車載）

防災	B C P
産業廃棄物・生コン	建設
医療・介護・福祉	警備、他

# 中核会社（モバイルクリエイティブのフロー&ストックの成長モデル）

## フロー

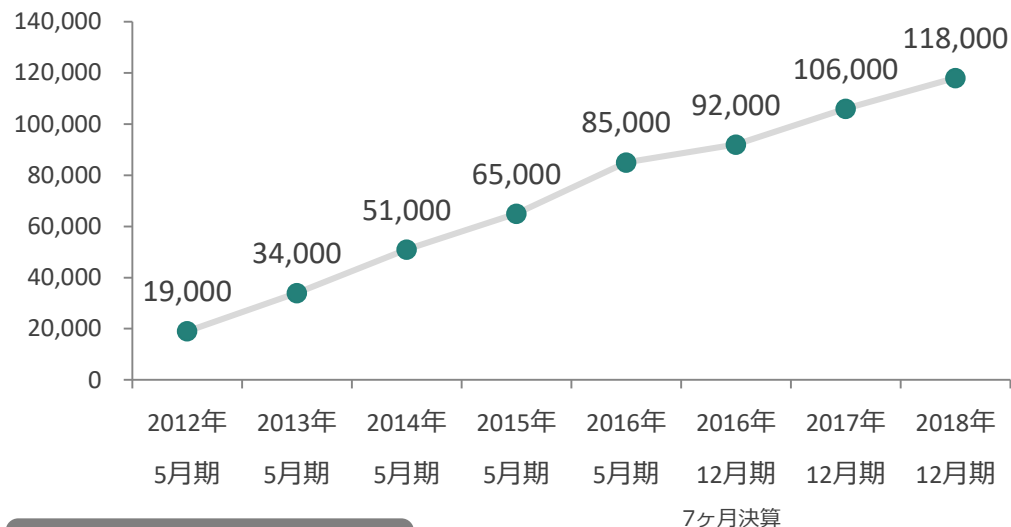
- 販売時における収入（システムの開発・販売）
- 外的要因に左右されやすい



## 累積契約台数

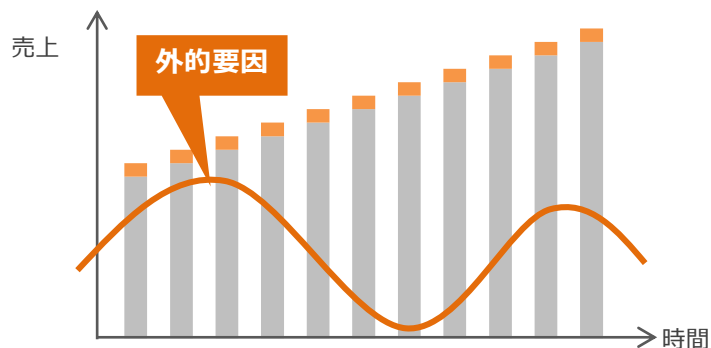
目標 **20** 万台

(台)



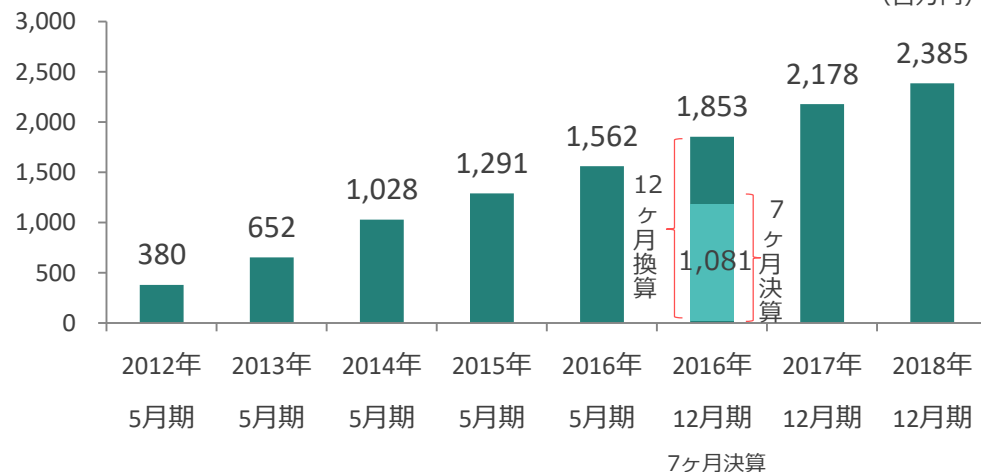
## ストック

- 継続的なサービスの提供による収入（月額利用料・保守料）
- 安定した収益が得られる



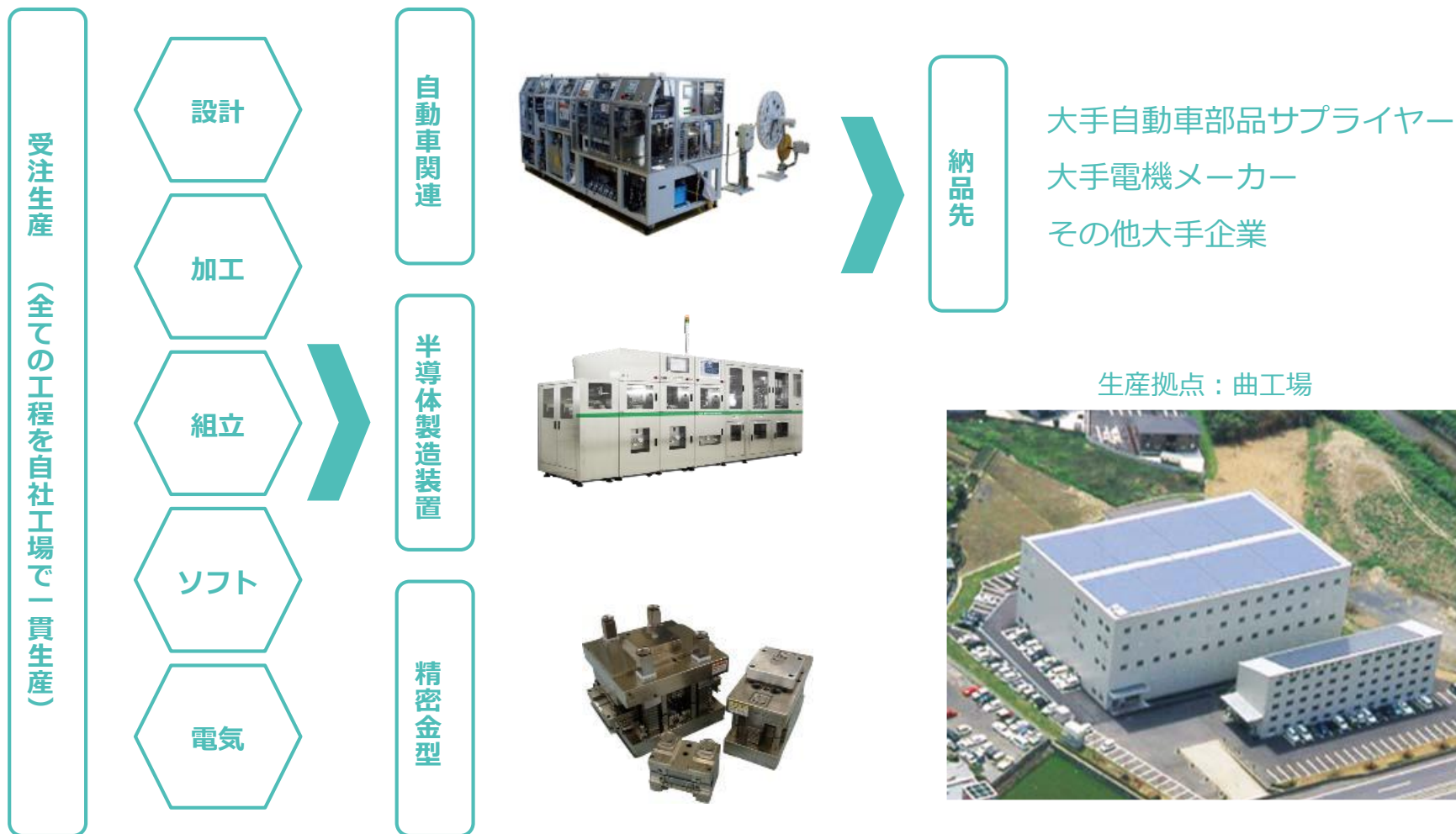
## ストック売上高の推移

(百万円)



# 中核会社（石井工作研究所の事業内容）

- 部品から自社で制作し、多岐にわたる精密加工技術を有す
- 高い「ものづくり」の技術と大手企業を中心とした優良な顧客基盤







【 連絡先 】 F I G株式会社 社長室  
【 住 所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号  
【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

※「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

※「FeliCa」はソニー(株)、「OKICA」は沖縄ICカード(株)の登録商標です。